

博士前期課程（修士） / 健康看護学領域 / 看護管理学分野
科目コード：270005

看護管理実習 Practicum : Nursing Administration

担当教員	丸岡 直子、石川 優子						
実務経験							
開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	実習		
必修・選択	選択	時間数	60				
Keywords	看護組織、課題解決プロセス						
学習目的・目標	<p>学習目的：看護組織における課題とその構造を理解し、課題解決プロセスと評価手法について臨地実習をとおして学び、看護管理者の役割と能力を考究する。</p> <p>学習目標</p> <ol style="list-style-type: none">1. 看護組織における課題およびその背景から、課題の構造や影響要因を分析する。2. 課題解決プロセスを調査し、諸理論を活用して分析する。3. 看護サービス提供の現状や体験から看護管理者の役割と能力を考究する。						
授業計画・内容							
回	内容			授業方法	担当		
1	ガイダンス 実習の目的と進め方				丸岡・石川		
2～10	<p>実習計画立案</p> <p>(1) 分析課題の明確化 関心領域から看護組織の課題について選定 (2) 「看護覚え書き」小管理から実習内容を考える</p>			討議	丸岡・石川		
11～30	<p>臨地での実習（4～5日間程度） 1日目（2時間程度）実習計画の調整</p>			実習	丸岡・石川		
	<p>2日目</p> <p>(1) 実習施設の概要・看護の概要について説明をうける (臨床講義：医療施設における看護管理の機能)</p> <p>(2) 看護組織における課題解決や新たな取り組みについて 担当者から説明をうける 課題解決のプロセスの関連要因について理解する (3) (1) (2) を通じて、さらに理解を深めるための準備（討論）</p>						
	<p>3日目</p> <p>(1) 現場の状況から課題達成状況を観察や面接から情報収集</p>						
	4日目 これまでの整理と文献検索			討議	丸岡・石川		
	5日目 「看護覚え書き」小管理の抄読と実習計画立案			討議	丸岡・石川		
	6日目 看護管理者の役割について、病棟などのフィールドワークを行う						
	<p>7～9日</p> <p>看護組織の課題構造や影響要因と課題達成プロセスの分析 看護管理者の役割・能力の検討 発表準備</p>			討議	丸岡・石川		
	10日目 実習の成果発表・まとめ			プレゼン・討議	丸岡・石川		
教科書	なし						
参考図書等	適宜提示する						
評価指標	実習計画立案（20%）、実習の参加状況（40%）、プレゼンテーションおよびレポート内容（40%）から評価						
関連科目	看護管理特論、看護組織論、人的資源活用論、看護経済・経営論						
教員から学生へのメッセージ	看護の質の向上につながる看護現場の課題解決について、臨地実習での経験から多角的に分析してみましょう。						